

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

神奈川県

行事名称	金沢山「称名寺」消防総合訓練(文化財防火デー)
実施期間・日時	令和8年1月25日(日)10時00分から10時30分まで
実施場所	横浜市金沢区金沢町212番地1 金沢山「称名寺」
主催者	称名寺、金沢消防署、金沢消防団

■実施内容

訓練等の想定

称名寺裏山で発生した火災が「客殿」に延焼し、文化財が保管されている「金堂」及び県立金沢文庫方面に延焼拡大する恐れがあるとの想定により、称名寺関係者、地元連合町内会、金沢消防団及び金沢消防署が一体となった消火活動を実施する。

訓練等の内容

通報訓練、消火器を用いた初期消火訓練、情報伝達訓練、文化財搬送訓練、避難誘導訓練、バケツリレー訓練、可搬式ポンプによる初期消火訓練、指揮本部運営訓練、災害情報収集訓練、救出訓練、消火訓練

参加者及び役割分担

- ・称名寺関係者及び県立金沢文庫職員(10名)
通報訓練、避難誘導訓練、情報伝達訓練、消火器を用いた初期消火訓練、文化財搬送訓練
- ・自治会町内会(69名)
バケツリレー、可搬式ポンプを用いた初期消火訓練
- ・金沢消防署及び金沢消防団(50名)
指揮本部運営訓練、災害情報収集訓練、救出訓練、消火訓練

特に工夫した点

文化財を保有している称名寺及び県立金沢文庫の関係者のほか、称名寺周辺の連合町内会が参加することで、地域全体で文化財を守る意識につなげた。また、訓練後に連合町内会の方を対象にスタンドパイプ式初期消火器具の取扱訓練を実施するなど、初期消火能力の向上に重点を置いた。

問題点・課題

保有している文化財の数が多いことや火災発生時にすぐに駆け付けられる連絡体制の確保、通報の手段を考える必要がある。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、称名寺関係者や地域住民等の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練等風景



文化財(模擬)搬送訓練



一斉放水(消防署、消防団、称名寺放水銃)